



大 地

令和7年7月号

校長 指崎 邦久

本格的な夏の日差しが降り注ぐ中、4年生以上がプールで水泳学習をしています。着替えを抱えて、友達と笑顔で会話しながら準備へ向かう子供たちの姿から、水泳学習を楽しんでいることが伝わってきます。プールから、楽しそうな声が聞こえてきます。楽しく水泳に取り組み、水の中でも自分の身を守る方法を身に付けてもらいたいです。



玄関先には、1年生が植えたアサガオが伸び伸びと育ち、藤色や薄いピンク色等の花を咲かせています。毎朝、水をやりながら成長を喜ぶ様子に、生き物に対する優しさと探求心を感じます。隣の鉢まで伸びようとしているつるを戻す子供や、花卉を見つめる子供、つぼみのひねりに気付き明日咲きそうと話す子供等、繰り返しアサガオと関わってきたからこそみられる姿です。繰り返し関わることで心が通い、気付きが生まれるのだと改めて思いました。

子供たちは、4月からの様々な学習や活動を通して、多くのことを学んできました。積み重ねの中で培われた感覚を通しての学びや、心動かされる体験での学びなど、一人一人の心に残る学びがあったと思います。間もなく始まる夏休みでも、その学びを生かして、よい積み重ねや、心動く体験をしてもらいたいと思います。

今年の夏も大変暑い日が続きます。保護者の皆様はじめ、ご家族におかれましても健康にご留意ください。

生き生き窪っ子 いろいろな場面で生き生きと活動する窪っ子の様子を紹介します

全校なかよし集会

6月26日(木)に、6年生が企画・運営して「全校なかよし集会」を行いました。6年生は、全学年の子供が仲よくなれるように、スムーズに会が進むように、内容や話し方を考えてきました。今年は、縦割り班ごとに仲よくなれるように、縦割り掃除の場所等に分かれて遊ぶ時間を設定しました。多くの6年生が、会の進め方や遊び方の説明の役割につきました。分かってもらえるように話し方に気を付けようという意気込みが何人もの子供から伝わってきました。縦割り班では、フルーツバスケットやじゃんけん列車、あっち向いてほい等子供たちが考えた遊びをしました。

どの縦割り班も楽しそうでした。楽しそうにはしゃぐ下級生をあやしながら会を進める6年生の姿に、上級生の優しさを感じました。このような態度は下級生にとってよい手本になったでしょう。

決められた時間になると体育館に集まりました。役割を受け持った子供ががんばって役割をやり遂げていました。10日間ほど練習したという子供もいました。いろいろな子供にとって、楽しい思い出、そして、自信として心に残る集会になったと思います。



今年度のアクションプラン

本校 HP でお知らせしていますが、今年度のアクションプランを次のとおり設定しました。

	アクションプラン 1	アクションプラン 2
目 標	各学年の目標の家庭学習時間（学年×10 分）を達成する （達成度 85%以上）	自分から気持ちのよい挨拶ができる子供、挨拶を返すことができる （達成度 85%以上）
方 策	○家庭学習がんばり週間を設け、家庭学習習慣（学年×10 分）を目標にする。家庭学習がんばりカードに、「①目標②学習時間③自主学習内容④振り返り⑤家族の印」欄を設け、記録する。 ○週に 1 回、業間タイムで国語会と算数会に向けて各学級で練習したり、家庭学習の仕方を紹介したり、家庭学習について振り返ったりする時間を設ける。	○生活委員会の挨拶運動を中心に、誰にでも気持ちのよい挨拶をすることを呼びかける。また、よい挨拶ができている姿を校内放送や全校集会等で紹介する。 ○挨拶週間を設定し、ボランティア児童が玄関や交通指導場所で挨拶運動をしたり、各学級を訪問し挨拶をしたりする。

アクションプランアンケートにご協力いただきありがとうございました。アクションプランを通して、望ましい生活習慣が身に付くことを願っています。ご家庭でも引き続きご協力をお願いします。

ちょっといい話 学校外での子供の行動について紹介します。

○ある子供が、登校途中にバイクの下敷きになっていた人を見付け助けようとしたが、助けることができなかった。そのとき、同じ登校班の子供のお母さんが「後は大丈夫だよ。学校へ行っていていいよ」と助けてくださった。

子供に声をかけてくださった方を通して、温かい周囲の見守りを再認識することができ、とてもありがたく思いました。

○登校途中に、歩道の縁石に乗り上げて動けなくなっている車を助けたいと思い警察署に報告した。事情を伝えるのは、上級生だけでよいと考え、下級生に気を付けて先に登校するように話した。

この他にも、落ちている貴重品を拾って警察に届けたという話も聞かれます。

知っている大人がいないところでも人を助けたいという思いや、そのような行動はとても価値のあることだと思います。正しい行いや優しい行いがどこでもできるように、粘り強く指導していきたいと思っています。

ありがとうございました

○交通指導等で子供を見守ってくださりありがとうございました。大人の目があるだけで子供が落ち着き、事故の可能性が減ります。おかげで大過なく1学期を過ごすことができました。

○学校ボランティアの方が、活動に快く参加し、子供たちと一緒に活動してくださいました。安全が確保され活動が充実ただけでなく、子供たちもうれしそうでした。ありがとうございました。

夏休みに向けて

○間もなく夏休みが始まります。子供のころの夏休みに、海水浴に連れて行ってもらったことや宿題を終わらせるのに苦労したことを覚えています。子供たちに、「楽しい夏休みだった。2学期からも頑張ろう」と思えるようにしてもらいたいと思います。そのために次のことをお勧めします。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 心が動く体験をさせる。 | → アナログな体験(読書も可) |
| 2. 自分で決めてやり遂げさせる。 | → 「これは」というものを一つ |
| 3. すべきことに計画的に取り組ませる。 | → どれだけ手伝うか見極めながら |
| 4. 子供を、しっかりと見守る。 | → 子供がコントロールできないことは積極的に介入 |

実り多い2学期につながるように、夏休みを安全に計画的に楽しく過ごしてもらいたいです。